

いちじきゅうめいしよち いちじきゅうめいしよち ビーエルエス 一次救命処置 (BLS)

しんぱいそせい(シーピーアール)とエーイーディー — 心肺蘇生(CPR)とAED —

「人が倒れている」 近づくその前に

- 周囲の安全を確認する(二次事故防止)
- 傷病者の状態を確認する(大出血の有無など)

日本赤十字社では、一次救命処置の動画をホームページで公開しています。

- ホームページ
<http://www.jrc.or.jp/study/>
- 右のQRコードから携帯電話でもご覧になれます。



1 反応(意識)を確認する

- 肩を叩いて、声をかける



2 協力者を求める

- 119番通報とAEDの手配をお願いする

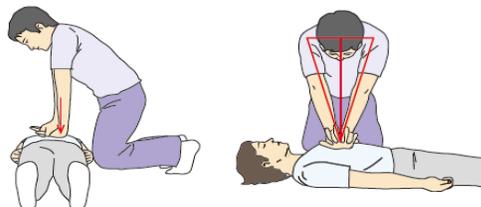
3 呼吸を確認する

- 10秒以上かけないで、胸とお腹をみて、普段どおりの呼吸があるかを確認する
- ※死戦期呼吸を普段どおりの呼吸と間違えないようにする
- ※判断に自信が持てないときは胸骨圧迫を開始する



4 胸骨圧迫を30回

- 「胸骨の下半分※」を手掌基部で垂直に押し下げる
- ※目安は胸の真ん中
- 圧迫の深さは「約5cm」
- 圧迫の速さは「1分間あたり100~120回」
- 圧迫は「強く・速く・絶え間なく」を意識する



6 メッセージに従ってAEDを使う

- ※AEDのメッセージは、タイプにより少し違う場合がある

5

できれば、人工呼吸を2回

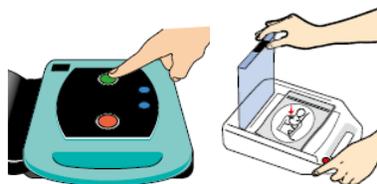
- 気道を確保する(頭部を後ろに下げて、あご先を上げる)
- 鼻をつまんで口をおおい、胸が上がるのがわかるまで吹き込む
- 1回の吹き込みに約1秒かける
- 吹き込んだら、つまんだ手と口を離す



- ※ 胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を繰り返す
- ※ 人工呼吸ができない場合は、胸骨圧迫のみを継続する

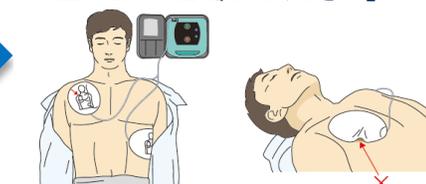
STEP 1

電源を入れる



STEP 2

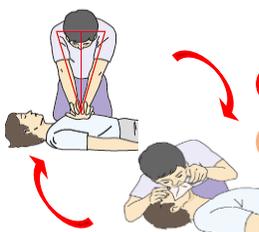
「電極パッドを装着してください」



- イラストのとおり貼る
- 電極パッドは、密着させる
- 水ぬれや、はり・ぬり薬などは取り除く
- コネクターがあるものは差し込む

STEP 5

胸骨圧迫と人工呼吸のくり返し



- 直ちに
- 4 胸骨圧迫
- 5 人工呼吸

STEP 4

「電気ショックが必要です」



- 傷病者から離れる
- ショックボタンを押す

「電気ショックは不要です」

STEP 3

「心電図を解析中です」



- 傷病者から離れる

STEP 6

以降もAEDのメッセージに従う

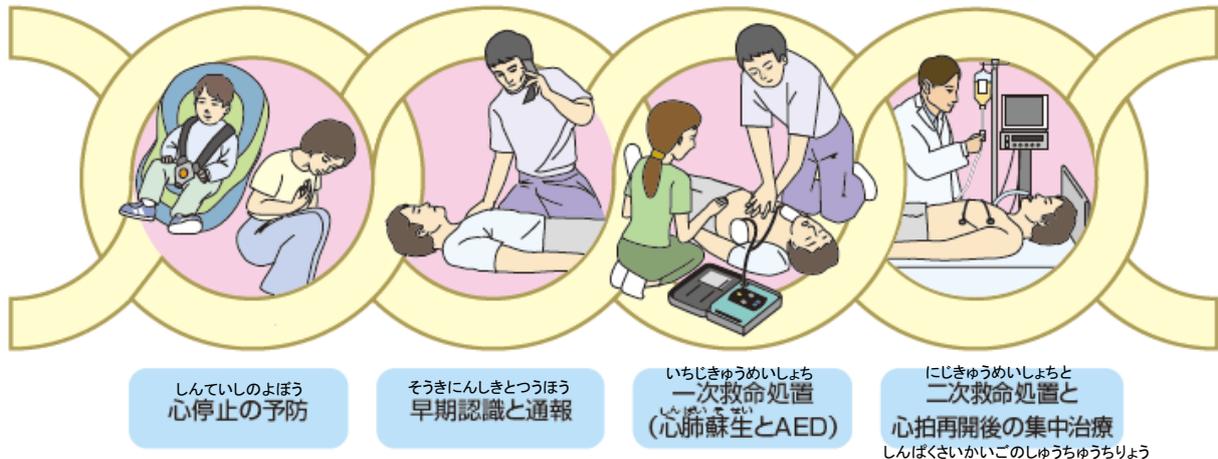
STEP 7

医師または、救急隊に引き継ぐ
● AEDの電源は切らず、電極パッドは着けたままにする



救命の連鎖

救命のスムーズな連携を4つの輪に例えており、輪が途切れることなく繋がることにより、救命率が向上することを表しています。



AEDの設置情報

設置されたAEDの効果的な活用のためには、利用条件等も含めた(例えば、休日は使用できないなど)正確な設置情報が提示されることが望まれています。日本救急医療財団は、2015年より新たなAEDの設置情報の登録を開始し、AED設置者の同意のもとにホームページ上で公開しています。

「AED設置場所検索」<http://www.qqzaidanmap.jp>

日本赤十字社は、「苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守る」という使命に基づき、「救急法」「水上安全法」「雪上安全法」「幼児安全法」および「健康生活支援講習」の5種類の講習を行っています。

講習会のお問い合わせ 日本赤十字社ホームページ
<http://www.jrc.or.jp/>

【お問い合わせ先】

780-0850

高知県高知市丸ノ内1丁目7番45号

総合あんしんセンター1階

TEL:088-872-6295 FAX:088-872-6299

MAIL:jigy@kochi.jrc.or.jp

ホームページはこちら <https://www.jrc.or.jp/chapter/kochi/>

 日本赤十字社 高知県支部